

コスモス薬局中町店

柴田和宏・高田寛之

代表

薬事事業部部長



0564-25-0111

arena-ph.jp

愛知県岡崎市中町5-1-12

ビジョン

私たちは「思いやり」をスローガンに掲げ、患者様の細やかなご要望に寄り添うことはもちろん、共に働くスタッフ同士も互いに思いやりの気持ちをもって業務に尽力してまいります。

地域の身近な医療機関として、薬局に求められる役割は大きく変化しています。処方箋に基づいて薬を渡すだけでなく、患者一人ひとりの生活や体調を把握して継続的に支援する「かかりつけ薬局」としての役割や、自宅や施設を訪問して療養生活を支える訪問薬局の重要性も高まっています。

今回は、岡崎市・安城市・常滑市で店舗を展開するコスモス薬局の柴田和宏代表と、薬事事業部部長を務める薬剤師・高田寛之さんにお話を伺いました。薬剤師を志したきっかけをはじめ、訪問薬局で行う服薬管理や残薬整理、多職種との連携、患者との対話を大切にする理由、そして地域に選ばれる薬局を目指す今後のビジョンについて紹介します(2026年7月取材)。

薬剤師を志したきっかけと地域医療に携わるまでの歩み

薬事事業部部長を務める薬剤師の高田さんにお話を伺います。薬剤師を目指したきっかけを教えてください。

私は高校時代は陸上部に所属しており、トレーニングを通して筋肉や心臓、肺など、人の身体の仕組みに興味を持つようになり、「どうすれば身体能力を高められるのか」「なぜ身体はこのような動くのか」と考えるうちに、医学や薬学を学びたいという気持ちが強まっていきました。

当初は医師も進路の候補でしたが、学費面のハードルが高く、現実的に考えた結果、薬学の道へ進むことを決めました。

大学時代は勉強中心の毎日でした。

一般的な大学生活のイメージとは少し違い、講義や実習が多く、薬剤師として必要な知識を身につけるために充実した学生生活を送ることができました。



卒業後はどのようなキャリアを歩まれたのでしょうか？

私が卒業した当時は、4年制薬学部卒業後に病院薬剤師になる道は現在ほど一般的ではなく、調剤薬局への就職が主な選択肢でした。

そんな中、当時の社長が私と同じ東京薬科大学の出身だったこともあり、学生時代から直接お話しする機会を設けてくれるなど、人を大切にする社風に強く惹かれて、大手調剤薬局への入社を決めました。

その後、アリーナへ転職し、一度埼玉県へ戻った時期もありましたが、再びアリーナへ復職し、現在まで通算15年ほど勤務しています。



アリーナはスタッフ同士だけでなく経営陣との距離も近く、何でも相談しやすい雰囲気があるので、人間関係のストレスが少なく、一人ひとりが安心して働ける環境が魅力だと感じています。

訪問薬局（在宅医療）に携わるようになったきっかけを教えてください。

私自身は、新卒で勤務した会社にいた頃から在宅医療に携わっており、当時はまだ訪問薬局に取り組む薬局は少なく、医師の訪問診療へ同行する機会もありました。

実際に現場へ出してみると、薬局内で調剤をしているだけでは経験できない緊張感があり、患者さんの生活の場で、多職種と連携しながら医療を支える経験を通して、「薬剤師も地域医療を担う重要な存在なんだ」という実感を強く持つようになりました。

現在は中町店で訪問薬剤管理を担当しており、個人宅へ定期的に訪問して服薬管理を行う傍ら、店舗全体の在宅業務についても把握・管理しています。

コスモス薬局全体では、施設・個人宅を合わせて約50～60名の利用者様をサポートしており、施設が約3分の2、個人宅が約3分の1を占めています。

薬を届けるだけではない訪問薬局と薬剤師の役割

印象に残っている訪問薬局のエピソードを教えてください。

現在担当している利用者様の中には、身寄りがなく地域で孤立した生活を送っており、地域のケアマネジャーからのご相談を受けたことをきっかけに、訪問による支援が始まった方がいます。

訪問薬局というと「薬を届ける仕事」というイメージを持たれがちですが、実際にはそれだけではなく、服薬状況を確認することはもちろんですが、何気ない会話を交わし、体調や生活の変化を感じ取り、「今日は元気そうですね」「何か困っていることはありませんか」と声をかけることも大切な役割です。

特に一人暮らしの高齢者にとっては、人と話す時間そのものが安心につながることも少なくありません。

訪問看護師やケアマネジャー、医師など、多くの専門職が支えるチーム医療の中で、私たち薬剤師も患者さんの日常に寄り添う存在として役割を担っています。



たくさんのお薬を飲んでいて整理がつかない方（ポリファーマシー）など、薬剤師だからこそ貢献できたと感じる場面はありますか？

普段から店舗へ通ってくださる患者さんの中には、ご家族の支援を受けられず、杖や車椅子を使いながら何とか一人で来局されている方も少なくありません。

外出することは身体機能の維持につながる一方で、転倒や骨折といったリスクも伴うため、無理を重ねることで生活そのものが難しくなってしまう可能性もあります…



続きはQRコードからアクセスしてください → → →

